

心筋梗塞などの緊急心血管疾患 について

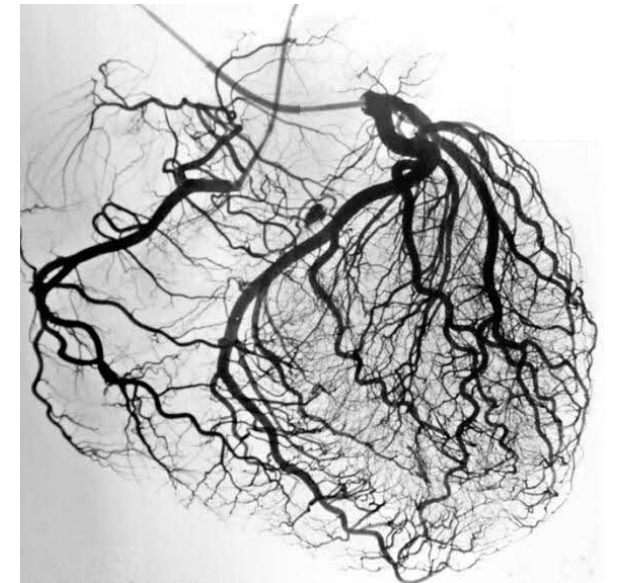
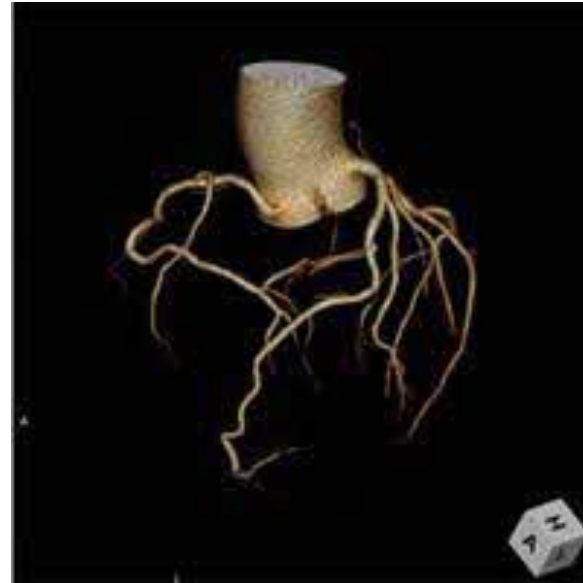
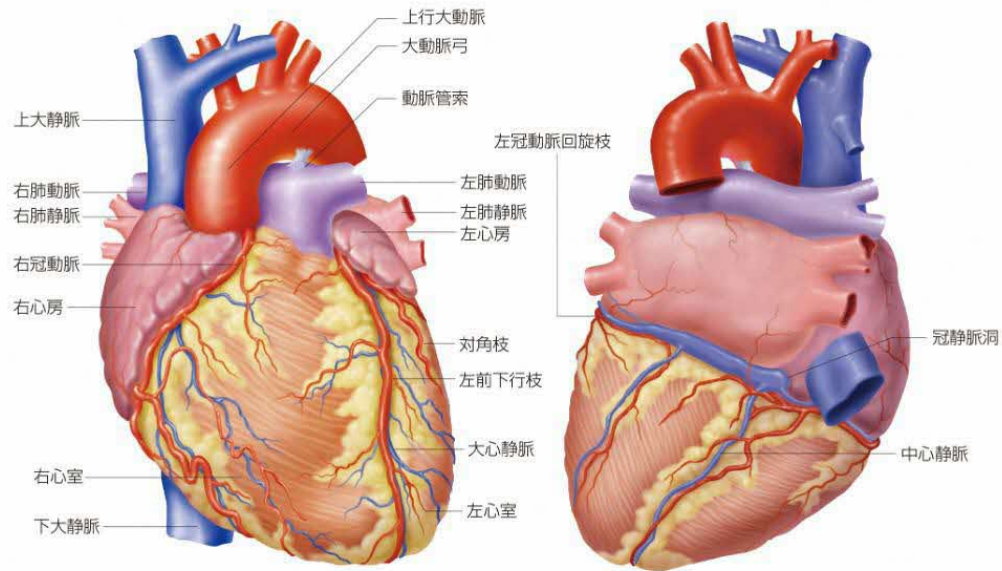


2025/1/24

益田医療体制に関する学習会

益田赤十字病院 循環器科
内田 利彦

冠動脈（冠状動脈）



心臓が働き続けるためには多くの血液を心筋が必要とする
それを供給する血管が**冠動脈（冠状動脈）**
大動脈から心表面に走行し分枝しながら心筋内に血液を灌流している

突然死の割合・急性心筋梗塞発症後の死亡割合

循環器用語ハンドブック

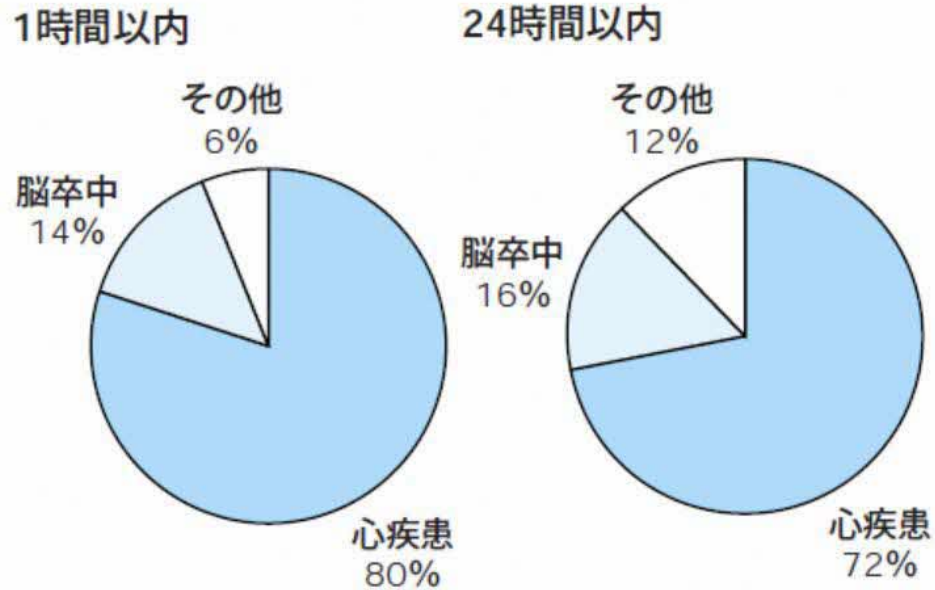
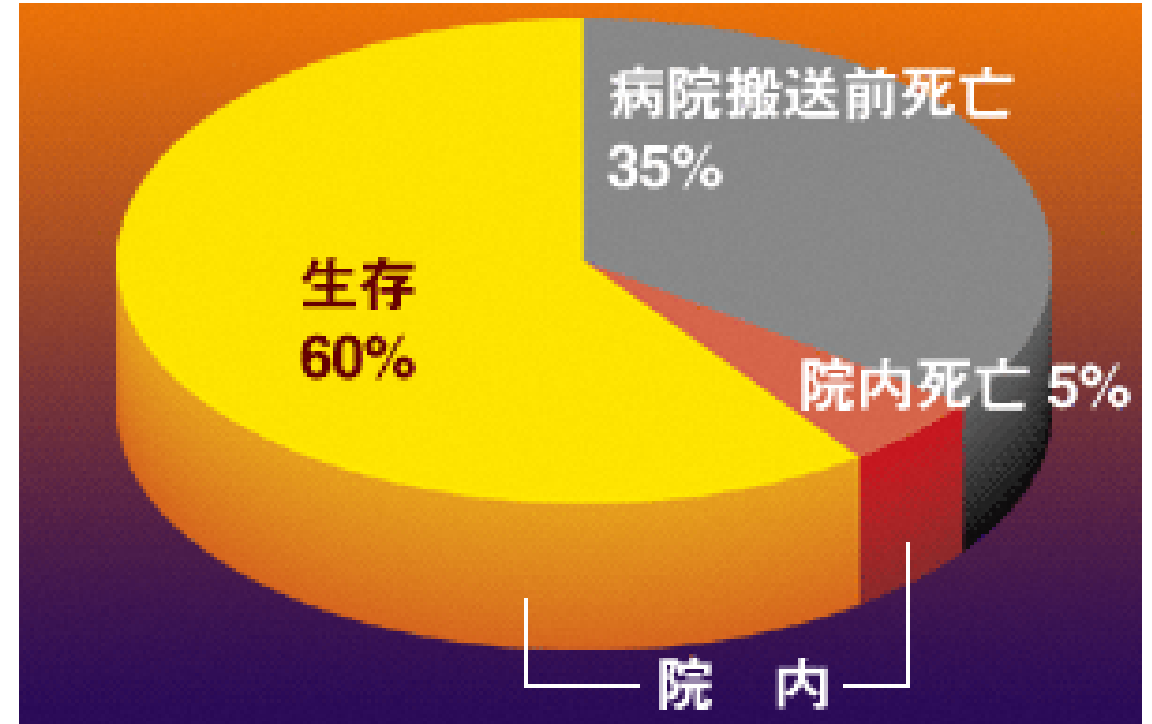


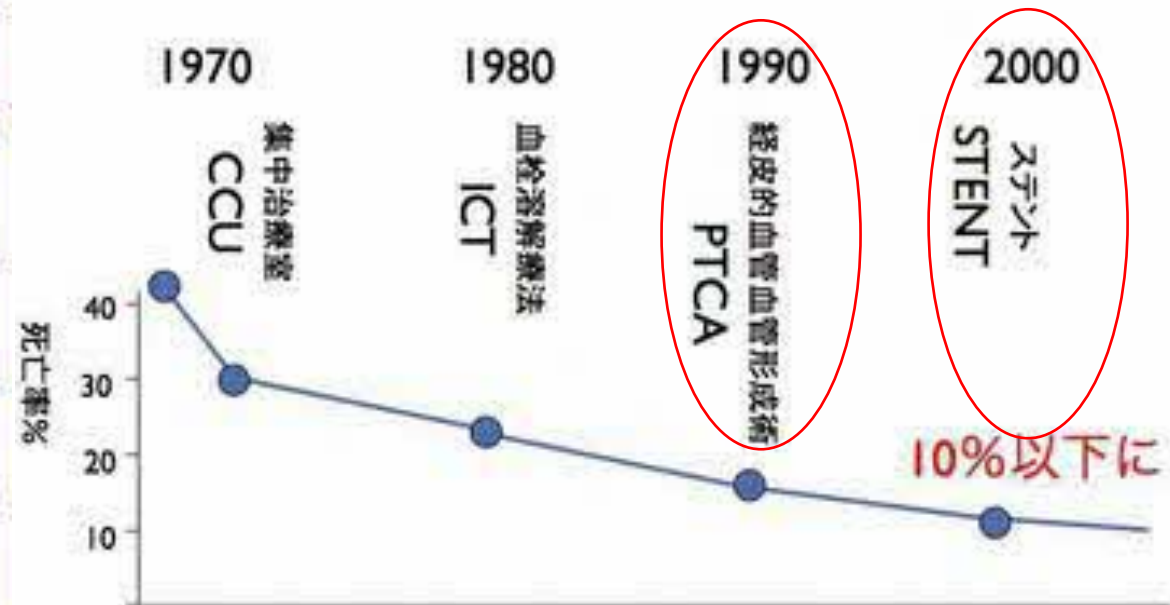
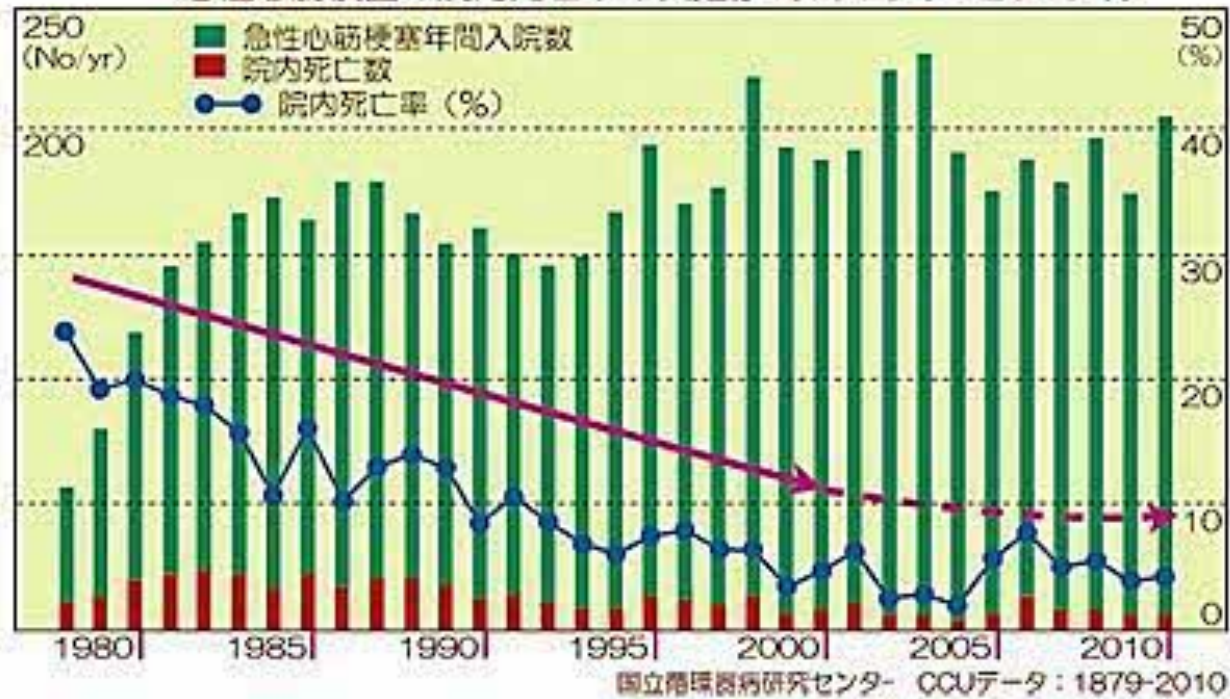
図. 本邦における突然死の内訳



突然死の7-8割は心疾患であり多くは急性心筋梗塞が原因
急性心筋梗塞は医療機関搬送前に死亡される率が高く
病院搬送された後の死亡率は1割以下

院内死亡率の経時的な変化と治療の進歩

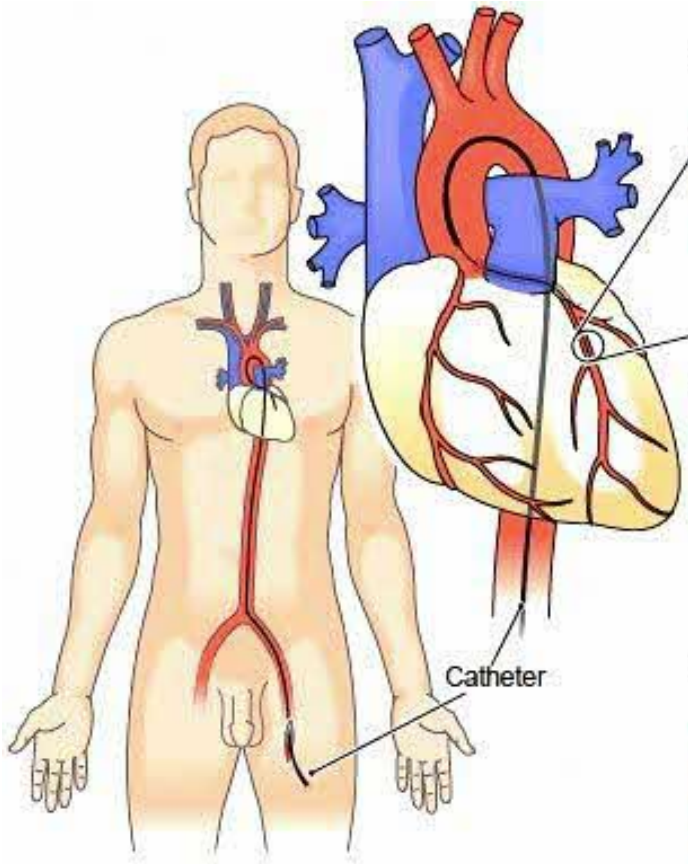
急性心筋梗塞の院内死亡率年次推移（1978年～2010年）



2000年にかけて病院搬送後の院内死亡率は経年的に低下しており
カテーテル治療の進歩がそれに寄与している

心臓カテーテル治療(PCI)

バルーン拡張術



①ガイド
ワイヤー
挿入



②バルーン
カテーテル
挿入



③拡張中



④拡張終了



⑤バルーン
カテーテル
抜去



ステント留置術

拡張前



拡張中



カテーテル抜去後



インフォームドコンセントのための
心臓・血管病アトラス

冠動脈狭窄病変を風船のついたカテーテルで拡張、
金属のステントで内腔を確保する治療手技

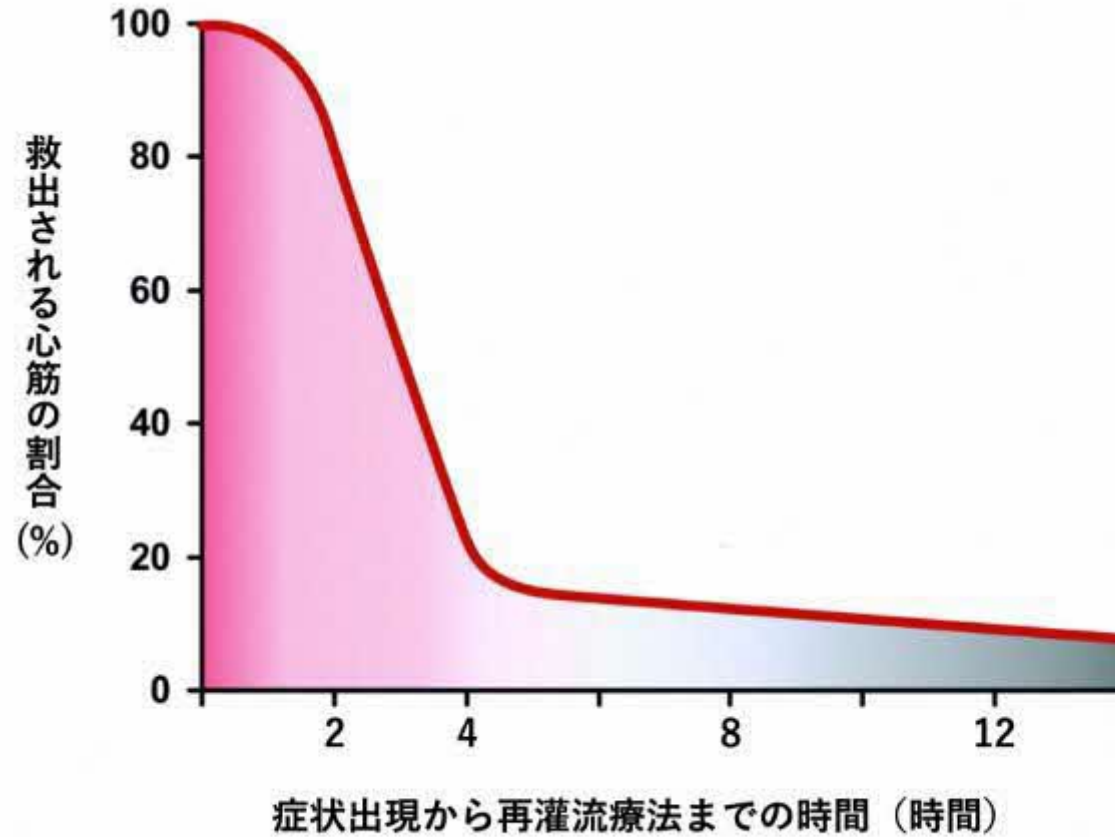
急性心筋梗塞に対するPCIの効果



Circulation Journal 2019 Volume 83 Issue 6 Pages 1229-1238

急性心筋梗塞に対して緊急PCI(primary PCI)を施行することで
性別関係なくどの年代でも死亡率を著明に低減出来る

緊急PCIにより救済される心筋の割合



JAMA 2005; 293: 979-986.を引用改変

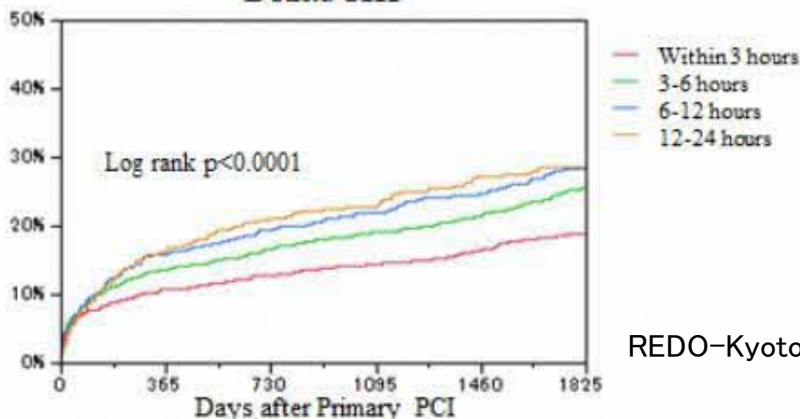
再灌流療法(PCI)までの時間が長いと
救出される心筋の割合は少なくなる

虚血時間の短縮の必要性



Onset to Balloon Time and Clinical Outcome

Death/CHF

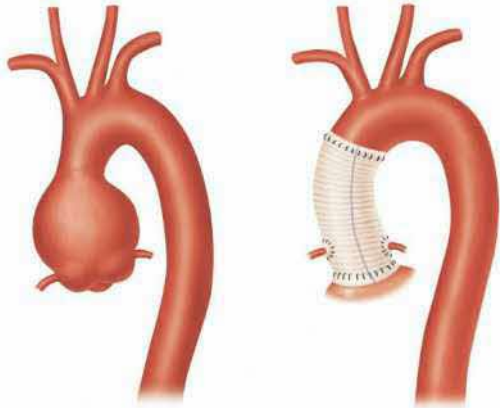


REDO-Kyoto AMI Registry

急性心筋梗塞では総虚血時間の短縮が予後に大きく関連する
DTB時間の短縮および発症からDoor(病院)までの時間の短縮が必要

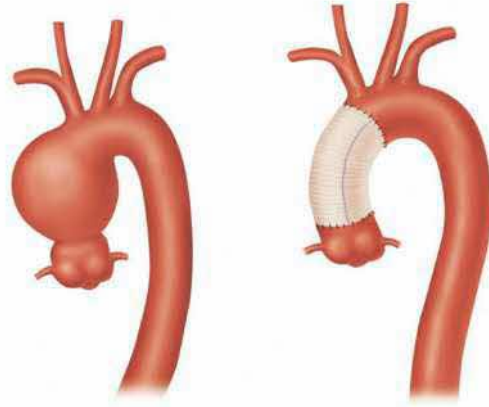
治療(人工血管置換術)

大動脈弁輪拡張症



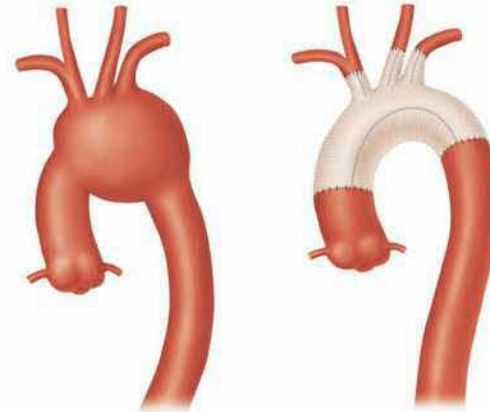
インフォームドコンセントの取得
心臓・血管病アトラス

上行大動脈瘤



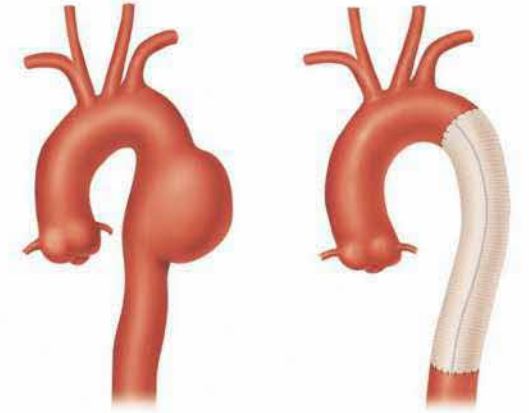
インフォームドコンセントの取得
心臓・血管病アトラス

弓部大動脈瘤



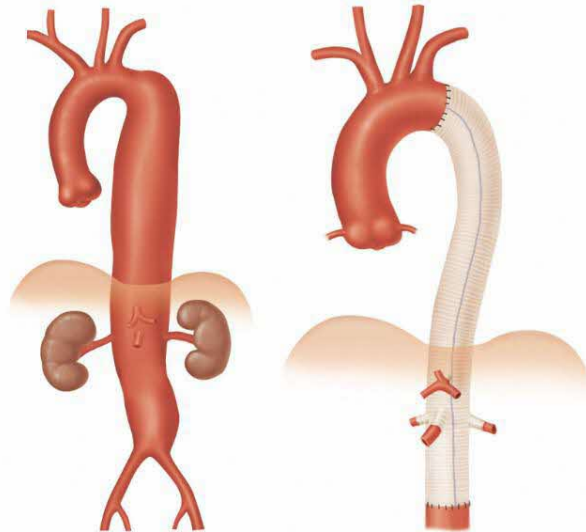
インフォームドコンセントの取得
心臓・血管病アトラス

下行大動脈瘤



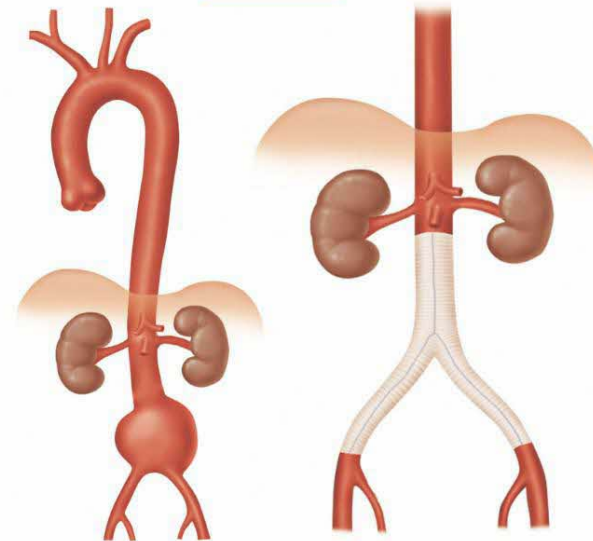
インフォームドコンセントの取得
心臓・血管病アトラス

胸腹部大動脈瘤



インフォームドコンセントの取得
心臓・血管病アトラス

腹部大動脈瘤



インフォームドコンセントの取得
心臓・血管病アトラス

益田医療圏について

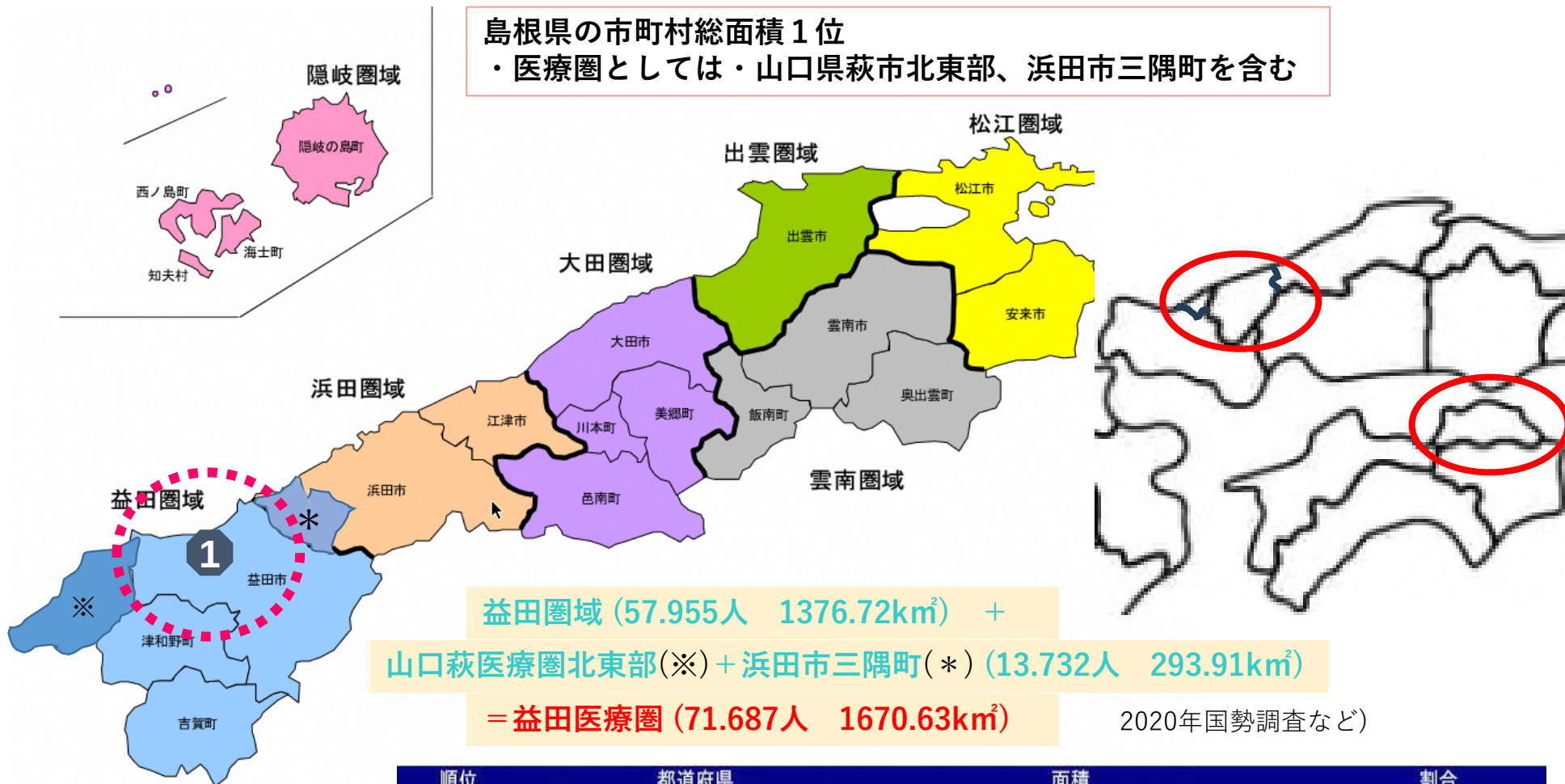


益田赤十字病院
一般病床284床
診療科20

救急車受け入れ3075件/年
うち循環器284件/年

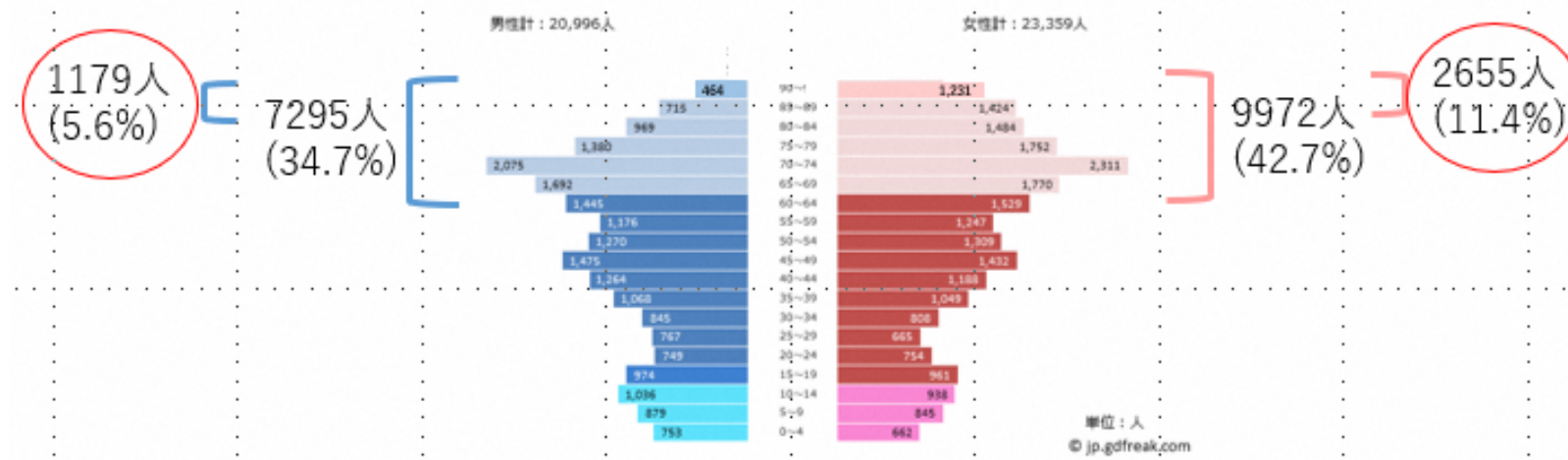
へり搬入9件(循環器3件)
へり搬出16件(循環器3件)

平成3(1991)年より心カテ
年間PCI 約100件
うち緊急PCI 約30件



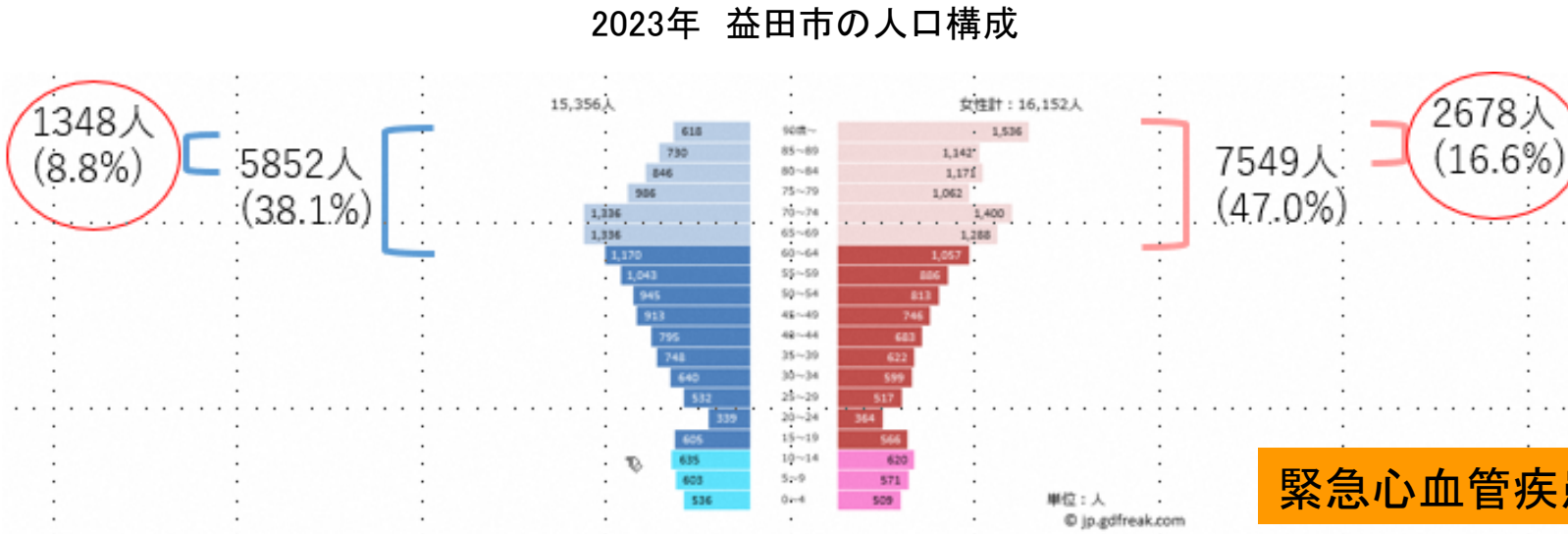
順位	都道府県	面積	割合
1位	香川県	1,877km ²	0.5%
2位	大阪府	1,905km ²	0.5%
3位	東京都	2,194km ²	0.58%
4位	沖縄県	2,282km ²	0.6%

益田圏域の高齢化の将来



益田市の総人口予想

2023年 44355人→2045年 31508人(71.0%)
全体の人口が減るため65歳以上高齢者の絶対数も減少するが比率は増加
特に85歳以上では絶対数も減少せず増加率が著明(人口比率で現在の1.5倍)



高齢者の割合が増えるのに対して医療や介護を含む就労年代は減少

高齢独居 高齢者世帯(老老介護)がさらに増え脆弱な社会環境となる

医療インフラ、救急医療の維持が困難となることが予想される

緊急心血管疾患の救命率が低下することが懸念される

2045年 益田市の人口構成予測

総務省 国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口、総務省住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数をもとに作成されたもの

まとめ

- ✓ 急性心筋梗塞、急性大動脈症候群(大動脈瘤破裂 急性大動脈解離)の病態、診断、治療について述べた
- ✓ これら緊急性心血管疾患はいずれも短時間に致命的となり得るため可能な限り早く診断治療が行われることが救命に直結する
- ✓ そのために救急医療体制(医療インフラ)の維持が必要不可欠である
- ✓ 予防としてはいずれの疾患も動脈硬化に関連して起こることが多い禁煙、高血圧、脂質異常症、糖尿病などに対しての治療介入がそのリスクを減じる